

グローバル・ロボティクス株式ファンド

(1年決算型)/(年2回決算型)

(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

運用者が語る「ロボティクス」
～ポートフォリオ・マネージャー・インタビュー～

2022年12月、当ファンドのポートフォリオ・マネージャーであるチアーズ・ガイザー氏がコロナ禍前の2019年から3年ぶりに来日し、これまでの運用や、運用者から見たロボティクスの今後の視点などについて語りました。本資料では、その内容についてご紹介いたします。

本資料でご紹介する5つの質問

1. これまで良好なパフォーマンスを出せたのは何故でしょうか？
2. これまでの7年間の運用でうまくいったこと、うまくいかなかったことについて教えてください。
3. 現在の世界的なインフレをどう見えていますか？また、それに対してどう対処されますか？
4. 今注目しているエリアを教えてください。
5. 当ファンドの今後の展望を教えてください。



チアーズ・ガイザー
ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
ポートフォリオ・マネージャー/アナリスト



インタビューの様を知りたい方は、こちらをチェック！

スマートフォンなどでQRコードを読み取ると、動画が見られます。

設定から7年、ロボティクスの普及拡大とともに良好な推移を続けた
当ファンドのパフォーマンス

＜基準価額(1年決算型)と世界株式(配当込)の推移＞

(2015年8月31日(設定日)～2022年12月30日)



※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 世界株式: MSCI Worldインデックス(米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の世界株式の値に当日の為替を適用して算出。

※ 世界株式は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご覧いただき「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

1 これまで良好なパフォーマンスを出せたのは何故でしょうか？

複数テーマに分散投資を行なったことや、大きな変化を捉えてポートフォリオを構築してきた点と考えます。

■まず最初に、**ロボティクス関連で将来性の高いいくつかのイノベーションに分散して投資をしてきたこと**が挙げられます。例えば、物流の自動化、FA(工場の自動化)と産業ロボット、そして最近ではデジタルツイン*や半導体設計のソフトウェアのデジタル化などのイノベーションです。と同時に、ロボティクス関連バリューチェーンにおいて重要な位置を占めるテクノロジー・イネーブラー(基幹技術などを構築する上で不可欠な企業)の特定に注力しました。こういった企業は、減速機やサーボモータ、FAの制御システムなど産業分野に集中していますが、最近では半導体産業にも多く見られます。半導体産業は、データセンターやAI(人工知能)開発において必要不可欠ですし、EV(電気自動車)などエネルギー転換トレンドを支えるハードウェア、そしてスマートファクトリーやスマートシティを可能にするIoT(モノのインターネット)にも用いられます。

■二つ目は、**構造的変化と循環サイクルがもたらす様々な市場環境下で最適なポートフォリオ構築を考えてきたこと**です。例えば、低金利下で高成長が見込まれる環境においては、より積極的なポートフォリオを構築する一方、過去1年~1年半のようなマクロ環境においては、いわゆるバリュー株を多めに保有することで少し防御的なポートフォリオにシフトする、というように、**上昇相場に乗ると同時に過剰なリスクを取ることは避け、下落相場でも資産の保全を図る運営をしてきました**。言い換えれば、バリュエーションはこのファンドの投資プロセスにおいて最も重要な要素です。どんな資産にも、適切な投資時期と価格水準があり、投資サイクルにおいてバリュエーションを考慮しないのは、羅針盤のない航海のようなものと考えています。

■以上のように、短期的なパフォーマンス変動を管理し、長期的に最適なリターンを獲得とリスク管理を図ることが最も重要と考えています。

＜ロボティクスを取り巻く環境の変化＞

2015年(当ファンド運用開始)

人手不足解消に向け、産業用ロボットへの期待



産業用ロボット



医療用ロボット

2018年頃

IoT進展によるロボティクス技術の普及拡大



自動運転技術



スマートホーム

2020年

コロナ禍で活用が急速に進むロボティクス技術



リモート技術



EC (Eコマース)

写真はイメージです。

* デジタルツイン

様々なものがインターネットでつながるIoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)、AR(拡張現実)などの技術を用いて、仮想空間(バーチャル)に現実空間(リアル)と同じ環境を再現する技術

上記は、日興アセットマネジメントが当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手した情報などを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

2 これまでの7年間の運用でうまくいったこと、うまくいかなかったことについて教えてください。

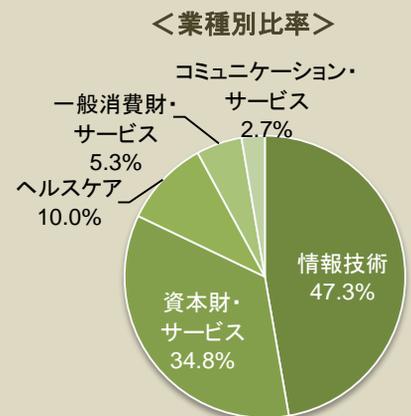
投資の王道と言える手法で投資を続けてきたことがこれまでの運用に生きています。

- うまくいった例としては、いわゆる「ミーム株*」などの乱高下する株式には決して手を出さなかったことです。2021年には、ミーム株とされたゲーム小売銘柄や映画館運営銘柄などの株価が乱高下したことで、ハッジファンド運営会社が膨大な損失を出して閉鎖に追い込まれました。長期で見ると、このような株は何度も上昇・下落を繰り返すだけで、価値を生んでいません。**私たちは多くの新しいイノベーションに対して王道と言える手法で投資をしてきました。**

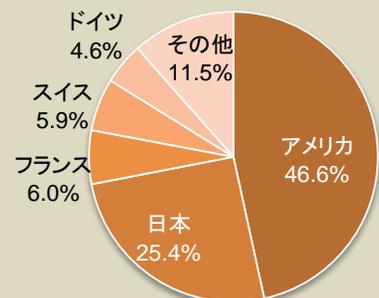
*ミーム株: SNSなどインターネットをきっかけに個人投資家の間で人気となり、株価が大きく乱高下する株のこと。「流行りの株」の意味。

- うまくいかなかった例としては、サービス・ロボットに投資をしてこなかったことです。例えば、ホームオートメーションのリーダーであるロボット掃除機銘柄には、流動性とバリュエーションの観点から過去5年間投資を控えてきました。ただし、サービス・ロボットは、同銘柄を買収したアマゾンのように消費関連の大企業が関心を示しており、近い将来に、よりしっかりとしたトレンドを示すかもしれません。

当ファンドのポートフォリオ概要 (2022年11月末現在)



<国・地域別比率>



<組入上位10銘柄>

組入銘柄数: 54銘柄

順位	銘柄	国名	業種	比率
1	ABB	スイス	資本財・サービス	4.9%
2	キーエンス	日本	情報技術	4.1%
3	シュナイダー・エレクトリック	フランス	資本財・サービス	3.9%
4	インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	3.8%
5	ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.5%
6	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア	2.9%
7	インフィニオン・テクノロジーズ	ドイツ	情報技術	2.6%
8	エヌビディア	アメリカ	情報技術	2.6%
9	アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.2%
10	アナログ・デバイセズ	アメリカ	情報技術	2.2%

- ※ 上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。
- ※ 各比率は四捨五入しており合計が100%としない場合があります。
- ※ 「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
- ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、日興アセットマネジメントが当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手した情報などを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記銘柄について、**売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。**

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

3 現在の世界的なインフレをどう見えていますか？ また、それに対してどう対処されますか？

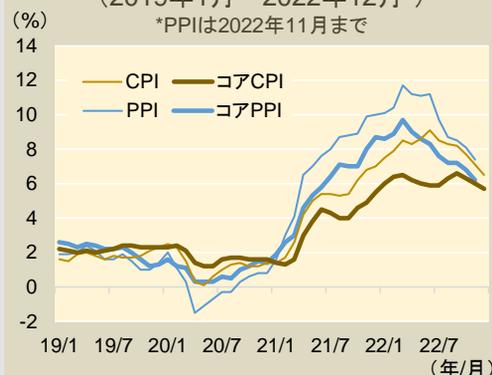
賃金インフレ対応での自動化の流れは、 ロボティクスにとって構造的な追い風とみえています。

- 最近のデータからは、インフレはピークを打っているように見えますが、**重要なのは、現在のインフレの一部はタイトな労働市場からもたらされる賃金インフレによって起こっていること**です。
- 自動化の導入は、上昇する賃金の代替手段として企業に高い投資価値をもたらすため、企業において重要な手段であり、しかも**構造的にロボティクスには追い風と見えています**。と同時に、米中央銀行のFRB(連邦準備制度理事会)は現在の状況に適切に対処しており、最近のCPI(消費者物価指数)やPPI(生産者物価指数)からはインフレが沈静化に向かっていることが窺えます。このような中、米国の利上げペースの減速が示唆されれば、金融引き締めへの警戒感が和らぐと考えています。
- 一方で、中央銀行の利上げ以降、制約を受けてきた新規投資プロジェクトの資金調達環境は幾分緩和に向かうと思われれます。製造業の供給能力はまだタイトな状況にあるため、この緩和は自動化需要にとっても良い方向に働くと思われれます。端的に言えば、景気が急失速を回避し、軟着陸することになれば、総需要が激減するような事態も避けられることとなるため、現在の状況は、ロボティクスへの向かい風というよりは追い風になると考えています。

＜米インフレ関連指標の推移(前年比)＞

(2019年1月～2022年12月*)

*PPIは2022年11月まで



＜米賃金伸び率の推移(前年比)＞

(2019年1月～2022年12月)



※ 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。



上記は、日興アセットマネジメントが当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手した情報などを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

4 今注目しているエリアを教えてください。

人協働ロボット、物流自動化、 深刻な人手不足に対応する、これらのエリアに注目しています。

■人協働ロボット

従来の産業用ロボットは、単純作業中心で大型サイズのものが多く、安全確保のため柵の中で用いられていたことから、利用は自動車や機械など、一部産業にとどまっていた。2022年に東京で開催された国際ロボット展では、より進化した人協働ロボットが人と協働作業をしている光景がみられました。今後、食品や飲料業界、小売業界、薬品やヘルスケア業界など幅広い産業において産業用ロボットと人協働ロボットが導入されていくと想定しています。ユーザーインターフェイス(機器やソフトウェアと利用者間での情報のやり取り)を始めとするテクノロジー進化が、幅広い産業で人協働ロボットの採用をより容易にしています。



人協働ロボットは比較的小型で、人や障害物を認識できるため柵不要で人と一緒に作業することが可能

■物流自動化

現在のインフレの要因として、供給サイドのボトルネックが挙げられます。EC(エコマース)の配送拠点を始めとする倉庫における人手不足と配送の混乱は、自動化技術を用いることで徐々に解消される方向です。最先端の仕分けやピッキングのソリューションを提供する日本のダイフクやノルウェーのオートストアなどの企業は、この業界の先駆的存在です。



EC(エコマース)の普及とともに、急速に進展する物流の自動化

写真はイメージです。

上記は、日興アセットマネジメントが当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手した情報などを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。
※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

5 当ファンドの今後の展望を教えてください。

野球の試合に例えるなら、まだ2回か3回の段階、 初期段階にあるロボティクスは、成長余地の大きい投資テーマ

- 重要なことは、私たちは野球の試合に例えるなら、まだ2回か3回の段階にいるということです。**多くのロボティクス関連の投資テーマはまだ初期段階**にあり、イノベーションのリーダー企業に投資をすることは、グローバルで活躍する成長企業(グローバル・グロス株式)に投資をすることと考えており、少なくとも今後10年はリターンを上げることができると信じています。
- いくつか投資テーマの例を挙げたいと思います。
 - ✓ **データは、AIとデジタル化を支える重要な要素**です。インターネット小売やスマートフォン、SNSなどで世界的な存在感を誇る米国企業など、いわゆる「ビッグ・テック企業」は、より優れた大型のデータセンターへ投資をしており、**強い半導体需要を牽引しています**。このデータセンターが、新しい消費者向け製品や企業向け製品開発の中核としての役割を担っています。
 - ✓ VR(仮想現実)とAR(拡張現実)においては、**デジタルツインのような産業向け用途開発が進む**と想定しています。一方で、消費者向けのVRとARについては、もう少し時間がかかるとみており、メタバースの更なる展開を待つ段階と考えています。
 - ✓ 人手不足と人件費高騰においては、**工場と物流の自動化が成長の本流になる**と考えています。人協働ロボットの工場や倉庫での導入は、企業の生産性向上を促進させるとみています。
 - ✓ 気候変動は、世界の主要な関心事です。そして、**ロボティクス技術が多くの産業の省エネに貢献するとともに、その結果として地球温暖化ガス排出抑制にも貢献する**と思われます。エネルギー転換は、多くの自動化技術に依存しています。例えば、家庭のスマートメーターやスマートシティの電力グリッドの最適化、デジタルツイン導入を通じた工場のパワーマネジメントやEVプラットフォームの開発などが挙げられます。

こういったイノベーションを起こせる企業の発掘において、私たちとロボティクスの長い旅路を今後も楽しんでいただければ幸いです。

<ラザードが着目する投資テーマ>

データ (データセンター)



工場と物流の自動化



デジタルツイン



気候変動

上記写真はイメージです。



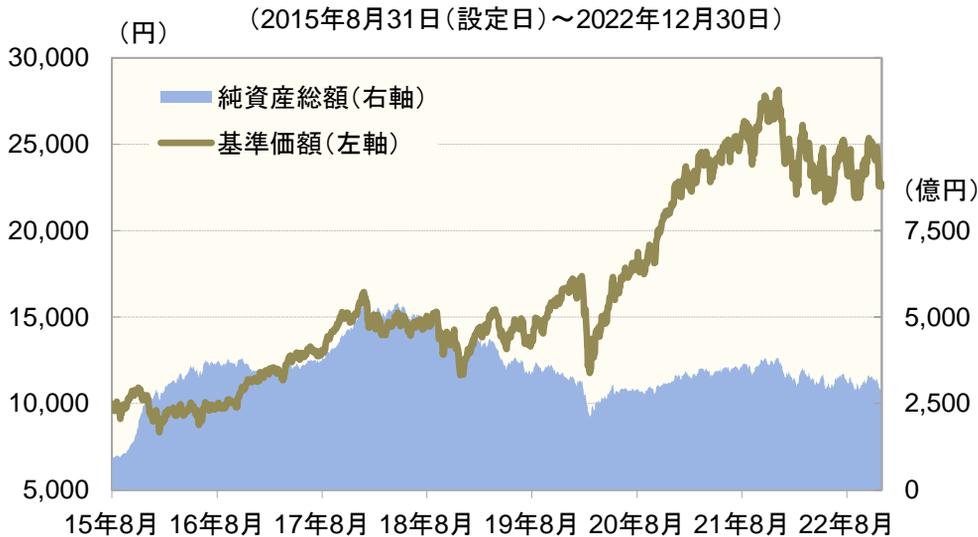
LAZARD
ASSET MANAGEMENT

上記は、日興アセットマネジメントが当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手した情報などを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移①

1年決算型



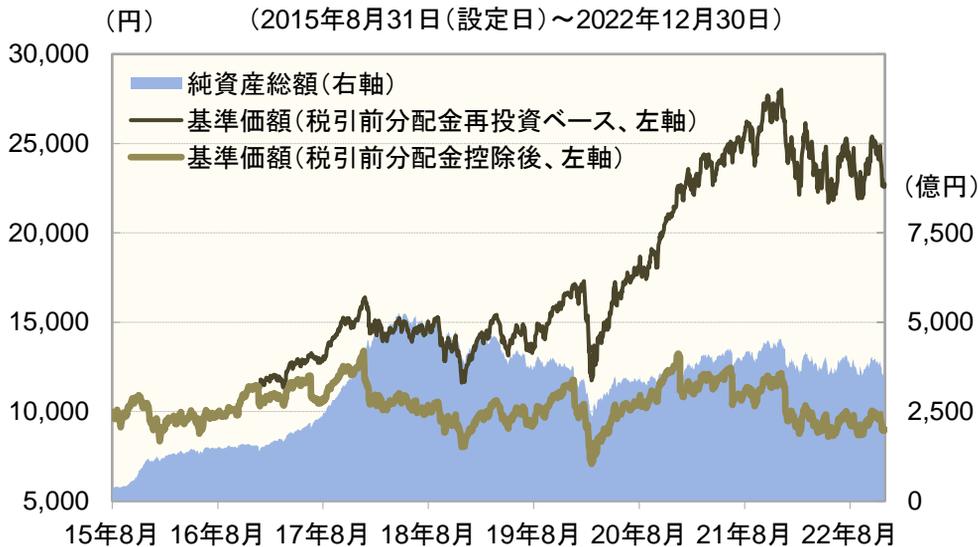
<分配金実績(過去5年)>

2018年7月	0円
2019年7月	0円
2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>
22,699円
<純資産総額>
2,931億円

(2022年12月30日現在)

年2回決算型



<分配金実績(過去5年)>

2018年	1月	1,600円	7月	500円
2019年	1月	0円	7月	0円
2020年	1月	1,500円	7月	300円
2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	950円	7月	0円
設定来合計		10,550円		

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
22,732円
(税引前分配金控除後)
8,998円
<純資産総額>
3,541億円

(2022年12月30日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。

※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。

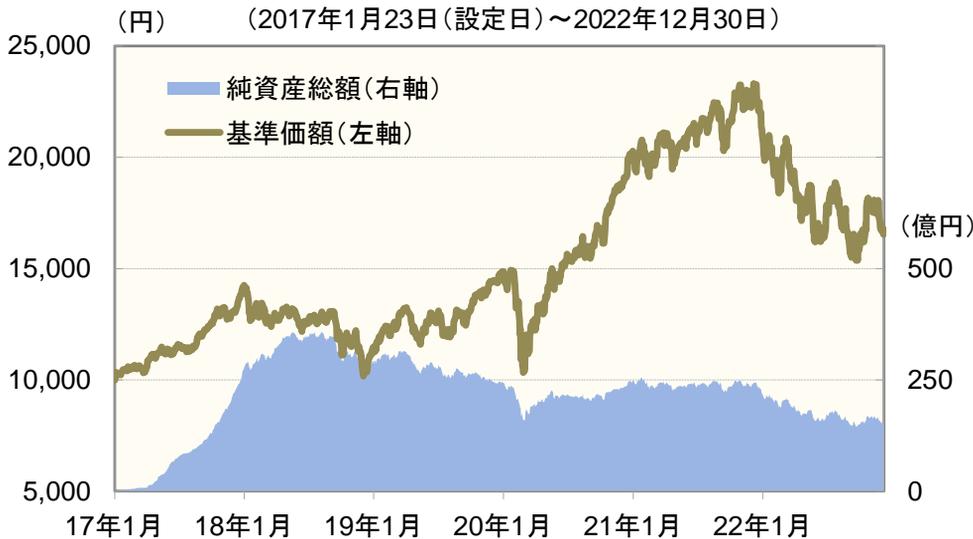
※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移②

為替ヘッジあり・1年決算型



<分配金実績(過去5年)>

2018年7月	0円
2019年7月	0円
2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>
16,773円
<純資産総額>
153億円
(2022年12月30日現在)

為替ヘッジあり・年2回決算型



<分配金実績(過去5年)>

2018年	1月	1,400円	7月	200円
2019年	1月	0円	7月	50円
2020年	1月	1,500円	7月	400円
2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	400円	7月	0円
設定来合計				8,450円

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
16,800円
(税引前分配金控除後)
7,983円
<純資産総額>
139億円
(2022年12月30日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンド
の特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行いません。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
3. お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる
4ファンドからお選びいただけます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。



「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)」は、
モーニングスター・アワード“Fund of the Year 2019”において、
優秀ファンド賞を受賞いたしました。
(国際株式型(グローバル) 部門)

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル) 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】 【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	<1年決算型>／<年2回決算型> 2035年7月20日まで(2015年8月31日設定) <為替ヘッジあり・1年決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 2035年7月20日まで(2017年1月23日設定)
決算日	<1年決算型>／<為替ヘッジあり・1年決算型> 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
換金手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 1 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会								
						日 本 証 券 業 協 会	日 本 投 資 顧 問 業 協 会	一 般 社 団 法 人 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	第 一 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会				
○				アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号								
○	○			アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○						
○				株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○							
○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○					
○				株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○							
○	○			足利小山信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号								
○	○			株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○			○				
○				足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号								
○				尼崎信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第39号	○							
○	○			株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○							
○				株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○			○				
○	○			池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○							
○				今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○							
○	○			株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○			○				
○				岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○					
○				株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○							
○	○	○	○	auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○					
○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○				
○	○	○	○	株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	○			○
○	○	○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○			○				
○				株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○							
○				株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○			○				
○				大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第19号								
○				OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○							
○				大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○							
○	○			大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号								
○				大田原信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第219号								
○				大牟田柳川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第20号								
○				岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○							
○	○			岡三証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○					○
○	○	○	○	岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○	○						
○	○	○	○	おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○							
○				おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○							
○				株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○							
○				株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○							
○				香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○							
○				株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○							
○	○			株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○							
○				鹿児島相互信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第26号								
○				柏崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第242号								

(次ページに続きます)

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会							
						日 本 証 券 業 協 会	日 本 投 資 顧 問 業 協 会	一 般 社 団 法 人 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人		
	○			株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○						
○				鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号							
○				観音寺信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第17号							
○	○			株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○				○		
	○			北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号							
	○			北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第233号							
○	○			きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号							
○	○			九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○						
○	○			京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第53号	○						
○				京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号							
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○				○		
○	○			株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○				○		
○	○			きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○						
○				株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○						
○				桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号							
○				熊本第一信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第14号							
○	○			呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号							
○				ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○						
○				株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○				○		
	○			興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号							
○	○			湖東信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第57号							
○				株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	○						
○	○			株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○						
○				さがみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号							
○				佐野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第223号							
○				さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○						
○	○			株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○						
○				三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第244号							
○	○			Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○						
	○			株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○				○		
○	○			四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○						
○				株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○						
○	○			静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○						
○	○			七七七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○						
○				しのめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号							
○	○			株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○						
○		○		株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○						
○				城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○						
○	○			株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○				○		
○	○			株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○				○		
○				白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号							
○				新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第37号							
○				スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○						
○				静清信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第43号	○						
○				西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	○						
○	○			関信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第45号							
○				瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○						
○	○			株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○				○		
○	○			第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○						
○	○			高崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号							
○				高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第20号							
○	○			但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号							
○				玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号							
○	○			知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第48号							
○	○			株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○				○		
○	○	○	○	東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○				○		○
○				東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第179号							
○				株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○						
○				とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○						
○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○						○
○	○			株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○						
○	○			栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号							
○				鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第35号							

(次ページに続きます)

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会						
						日 本 証 券 業 協 会	日 本 投 資 顧 問 業 協 会	一 般 社 団 法 人 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	第 一 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会	第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会	
○	○			株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○					
○	○			株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○					
○				株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○					
○				豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号						
○	○			内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○					○
○	○			株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○					
○				長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○					
○				株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○					
○				奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○					
○				奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号						
○	○			株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○					
○	○			西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○					
○	○			株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○			○		
○	○		○	西日本シティT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号						
○				のど共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号						
○	○	○	○	野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○	○	
○	○			株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○				○	
○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○				
○	○			浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○					
○				浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号						
○	○			播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第76号	○					
○				飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号						
○	○			PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○					○
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○					
○	○			株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○					
○	○			姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○					
○	○			百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○					
○	○			兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○					
○				平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号						
○	○			ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○					
○	○	○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号					○	
○	○			フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○				
○	○	○		株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○				○	
○	○			福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○					
○	○	○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○					○
○				碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○					
○	○			株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○					
○	○	○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○					
○	○			株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○				○	
○	○	○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○				○	
○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○					
○	○			丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○					
○				三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号						
○				水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号						
○	○			株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○					
○	○	○	○	株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○				○	○
○	○			三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○			
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○				○	○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○				○	○
○	○	○	○	三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○			
○	○	○	○	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	○
○				株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○				○	
○	○	○	○	株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○					
○	○			株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○					
○	○			明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○					
○	○			めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○					
○				大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	○					
○				株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○					
○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○
○				留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号						
○	○	○	○	ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○					

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(資料作成日現在、50音順)

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

nikko am
日興アセットマネジメント

